

おおせき

大関小学校だより№.6

令和 8 年 9 月 2 4 日

成長のチャンスととらえて ～充実した学校生活を～

校長 岸本 政和

秋はよく「〇〇の秋」と例えられます。春、夏、冬にも言えなくはないのですが、やはり「〇〇の」と言えば「秋」が一番言われています。それはなぜかと言いますと、やはり「気候がちょうどよいから」だそうです。暑い夏を終えて、秋はだんだんと涼しくなり過ごしやすくなります。日本の四季ははっきりしていて夏は暑さ、冬は寒さが厳しい気候です。読書や食事、スポーツなどはもちろん、暑い夏や寒い冬、何かと忙しい春にはなかなかできないようなことを、ぜひ秋に落ち着いて味わってみてはいかがでしょうか。

先日、燕市では今年で終わりとなる親善陸上大会に6年生が参加してきました。それぞれが目標をもち、大関小学校の顔として、他校の6年生とともにゴールへ向かって駆け抜ける姿を見て、とても和やかな気持ちになりました。

2学期は持久走記録会や文化祭、ファミリー班遊びや大関祭りなど多くの活動が待っています。先回の学校だよりでもお伝えしましたが、2学期は成長のチャンスです。子どもたちには活動の折に、しっかりとめあてをもって充実した学校生活を送ってほしいと思います。

継続は力なり ～ご家庭でも意識していただければ～

今回の学校だよりをめぐっていただくと、1学期にお答えいただいた学校評価保護者アンケートの集計結果が掲載されております。まずは、お忙しい中にも関わらず、ご回答ありがとうございました。回答に関する担当からのコメントは、このあとご覧いただくとして、私の方からも「学力向上」「豊かな心の育成」「体力向上」について、気になったこと、ご家庭でも意識していただきたいなと思ったことを示しました。私の私見も含まれますが、参考になれば幸いです。

「学力向上」:「学年×10分の家庭学習」がやや劣っていました。「宿題だけでは時間が余る」「どんな学習をすればよいかわからない」などあるかと思います。始業式で子どもたちに「家庭学習が苦手な人は、10分とか15分と時間を短く区切って繰り返し、慣れたら増やしてはどうでしょう。できたら自分にご褒美をあげてはどうでしょう」と話しました。ドリル問題を5問、10問と区切ってもいいでしょう。

「豊かな心の育成」:「優しい言葉づかい」がやや劣っていました。しかし、「友達に優しくしている」子どもたちです。よく「外面（そとづら）がいい」など言われます（私も…）が、友達や周りの人に優しく、心を開ける人に対しては、言葉づかいが悪いのかもしれないですね。家の中は自分の縄張りの中だからこそ、安心して（？）きたない言葉を発してしまうのかもしれない。

「体力向上」:「就寝1時間前のメディア使用」がダントツに劣っていました。メディアの使用は当校でも一番の課題です。スマートフォンは成人ひとりに1台が当たり前の時代となりました。お恥ずかしい話ですが、我が家でも食事中に娘がスマートフォンを触っているのを見て注意することがあります。そんな私も晩酌しながら触っていたことを思い出し「他人ごとではないな」と反省しました。就寝前1時間も同様です。「人の振り見て我が振り直せ」ならぬ「親の振り見せて子の振り直せ」なのかもしれません。詳しくは、11月12日（木・授業参観）開催の学校保健委員会にお越しください。